（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援　POCCO音の泉こうふ

公表日 2024年12月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		怪我のないよう療育に必要な器具等の量のみ用意し、広く動けるよう配慮している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	子どもの人数に応じて必要な職員の配置人数を満たしているか常にチェックするようにしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		子どもがわかりやすいように、絵や写真などで示し、行動しやすいよう環境を整えている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		来所予定の児童に合わせて、危険になるものは片付けて対応している 毎日、消毒・清掃を行い、環境を整えている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7		気持ちが高揚し、他害等の危険性がある時にクールダウンできる個室がある	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		スタッフミーティングを丁寧に行い、それぞれがスムーズに業務を進めるために意見交換をしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年評価を依頼し、保護者からの意見を取り入れて改善等を行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月一ミーティングや朝礼の際にスタッフから広く意見を聞く機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		実施できていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		月に１回研修を受講し、事例検討などを行っている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7		保護者の要望を基に支援計画を作成している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		計画を立てるにあたって保護者にアセスメントを行い、適宜保護者とニーズのすり合わせを行いながら作成していくようにしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画作成前に関係者会議を開くことで、スタッフ間でその子の今の状況を把握し、改善点や課題点を出し合うようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		アセスメントのすり合わせを行い、職員間で共通認識を持った上で作成するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		SM社会生活能力検査やKIDSの結果を元にそれぞれのお子さんに必要な支援や目標を設定している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ヴァインランドⅡに付随するSM社会生活能力検査の結果を踏まえて、それぞれのお子さんの課題に沿って5領域に分けて設定している。家族支援や移行支援、地域支援・地域連携についても具体的な支援策を考えて設定するようにしている。	「移行支援」「地域支援」等は画一的なものになってしまっているためより具体的にしていく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		その都度話し合い、すり合わせを行い、実行している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節により内容を変えたり、段階を踏みながら発展させた活動になるよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		集団での活動の中にも個々に取り組むものと集団で周りに合わせて行動するものを組み合わせたプログラムになるよう意識している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		その日の流れについて職員で事前に確認し、役割分担をして行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7		子どもの様子、気になったことなどを共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日HUGにケア記録を入力し、定期的にHUGに書いた記録を見直している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリングを通して、支援計画の見直し、改善すべき点等を修正している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		いつも子供と関わっている職員がサービス担当者会議に出席し、参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて連携できるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		関係者会議の中で併行利用の他機関との連携を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		移行会議があれば参加し、情報共有できるようにしている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	2	5		会議の際に同席し助言をいただくことはあるが、スーパーバイズを受ける機会は持てていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		ほとんど持てていない為、機会をつくっていきたいと考えている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に家族支援を行ったり、定期的に活動参観の機会を作ることで、保護者に子どもの状況や課題を伝え、家庭での様子も共有するようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	外部講師による、保護者も含め地域一般にむけた研修会は開催できている。心理士による相談会の案内は定期的に行っている。	ペアレントトレーニングに関しては実施できていない。ペアレントトレーニングに関する職員の研修等も含め今後取り組んでいきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に読み合わせを行い、規定等について説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時にその日の様子を伝えたり、ご家庭の様子を伺い、助言と支援を行うように努めている。定期的に参観や家族支援の機会を作っている。	参加者が固定しがちなため、広く参加してもらえるよう促していく必要がある。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情BOX,第3者委員を設置	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		公式LINEやインスタを通して定期的に活動の様子や行事予定を伝えている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報が記載されている書類は事業所で厳重に保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		発語の少ないお子さんに対しては視覚的に伝えたり、選択させる形で本人の意志を聞くように配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	警察、消防署の方々にもご協力いただきながら定期的に訓練をしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	BCPを作成し、定期的に訓練を行っている。	放課後デイの訓練に比べ、児童発達での訓練実施ができていないことがある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者に書いていただいた書類を基に服薬の有無、てんかん発作等の子どもの情報を共有している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		食物アレルギーの子供を把握し、誤って食べないように、最新の注意を払っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		災害予防訓練を年間計画に盛り込み、定期的に訓練するようにしている。また緊急事態での消防への連絡する手順や訓練も行ってい	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	2	5	年度毎に緊急時の連絡先の確認と、避難の方法等を保護者に説明するようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		スタッフミーティング時に情報を共有し、対策等を話し合っている。本事業所だけでなく、全体会議で他事業所の事例も共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待となる事項等を研修を通して学んでいる社内研修として年２回虐待防止研修を実施、参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		契約時に保護者に書面と口頭で説明し、児童発達支援計画にも記載している	